

晩婚化に伴う不妊治療の問題点について

宮城委員提出資料

晩婚化に伴う不妊治療の 問題点について

横浜市立大学医学部産婦人科

宮城 悦子

不妊治療の進化

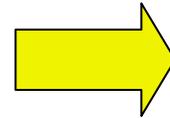
- 一般不妊治療

排卵誘発

タイミング法

人工授精(AIH, AID)

卵管形成術



- 難治性不妊治療

生殖補助医療(ART)

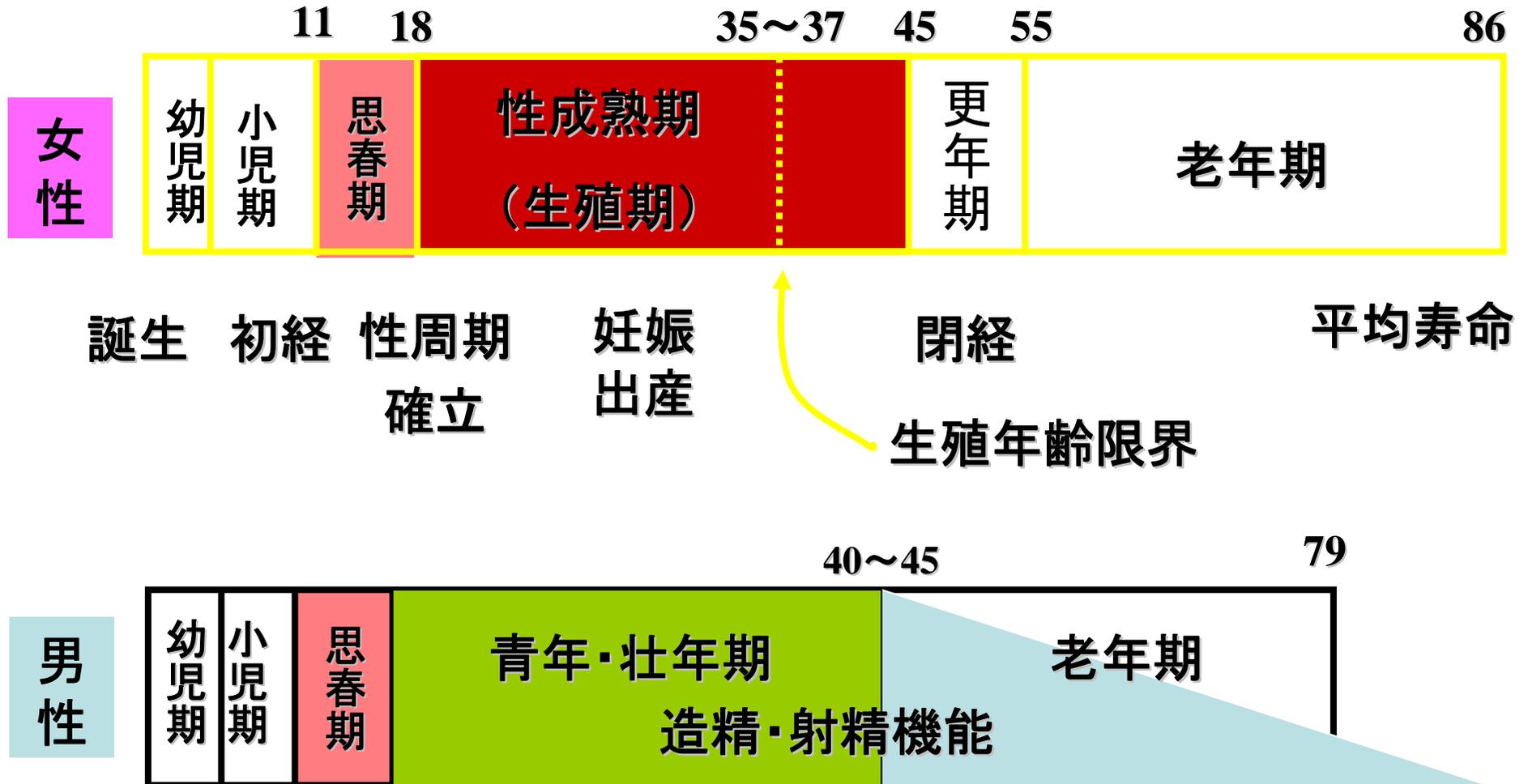
体外受精(IVF-ET)

顕微授精 (ICSI)

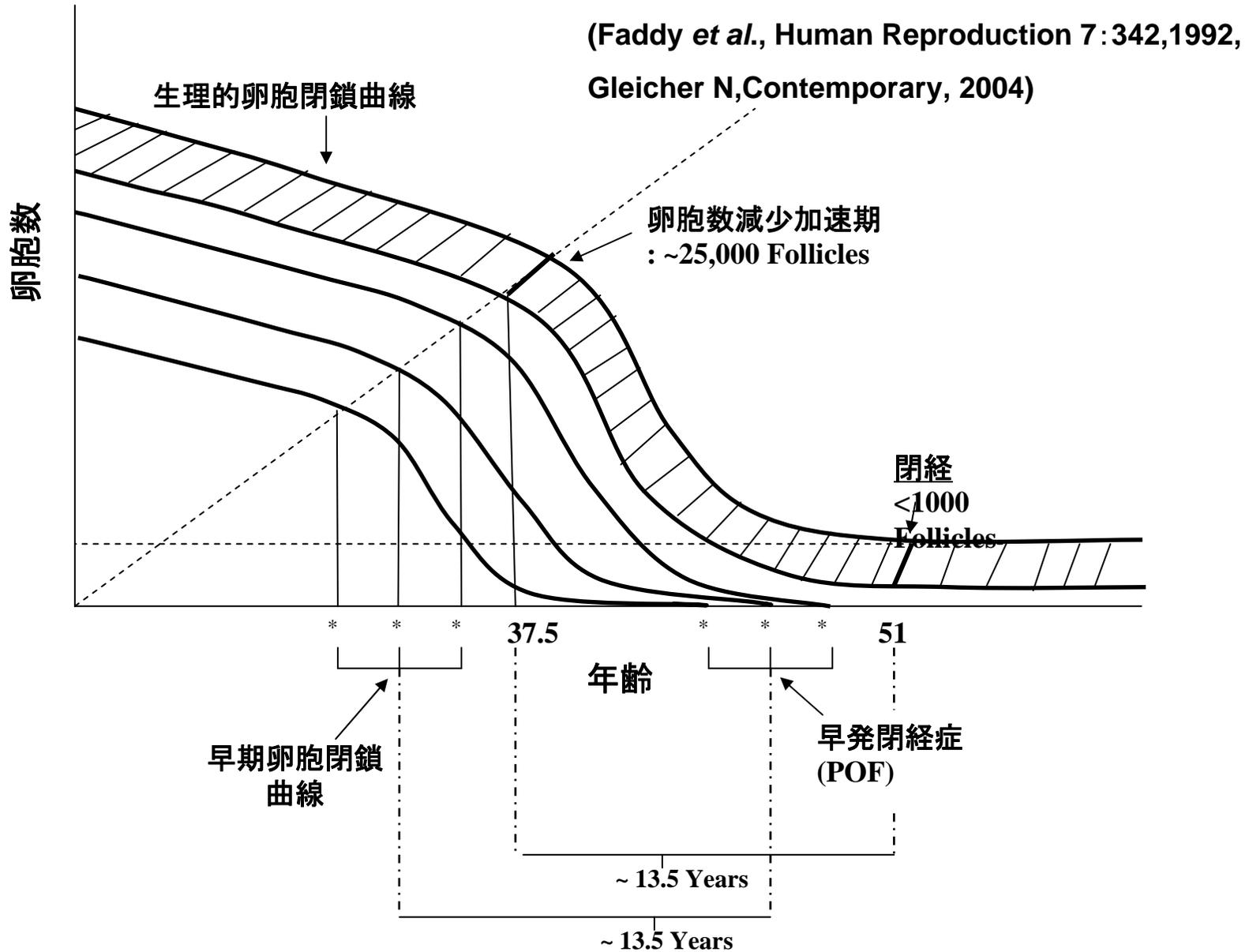
配偶子卵管内移植

(GIFT)

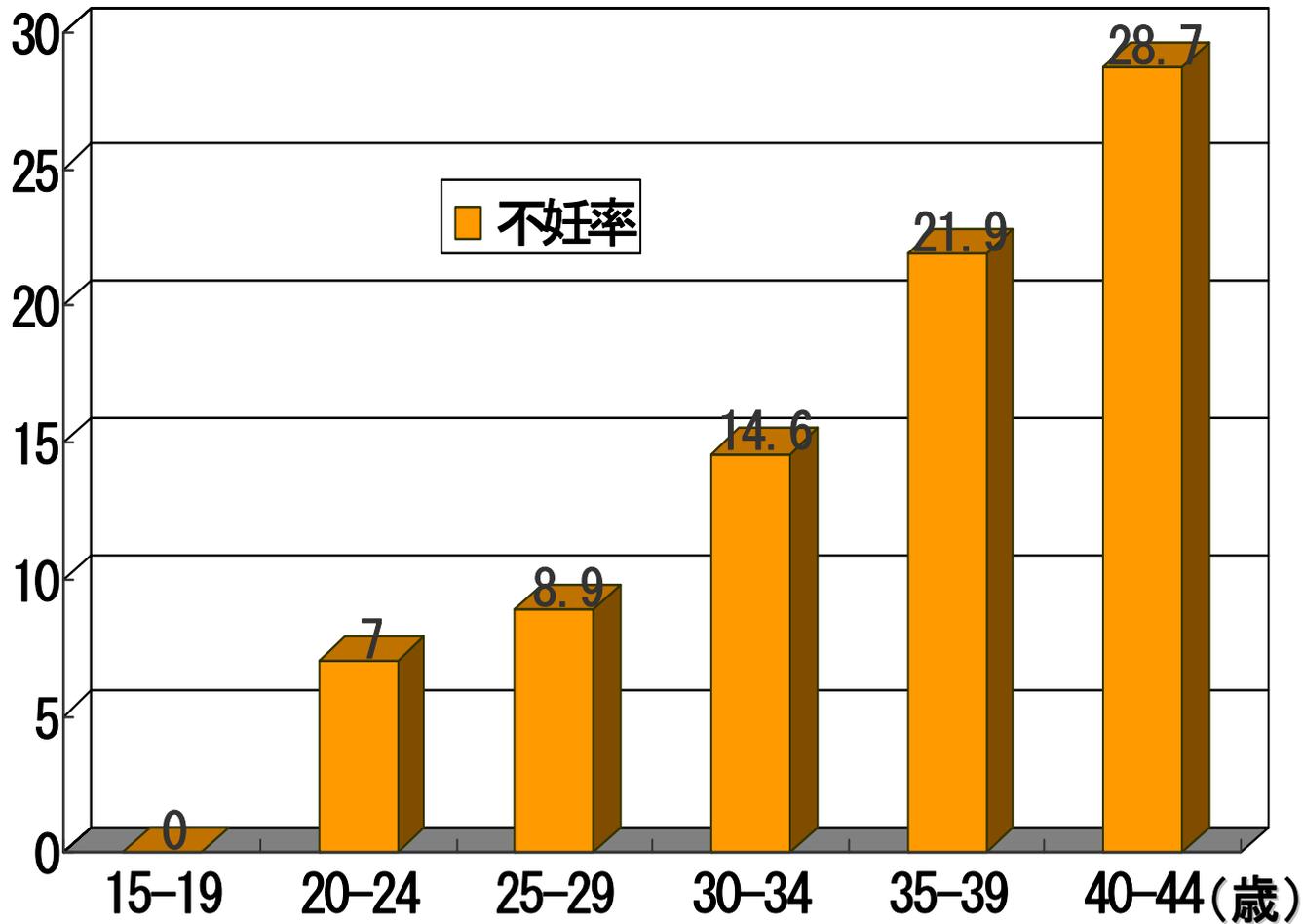
加齢と生殖機能



加齢にともなう卵胞数の変化



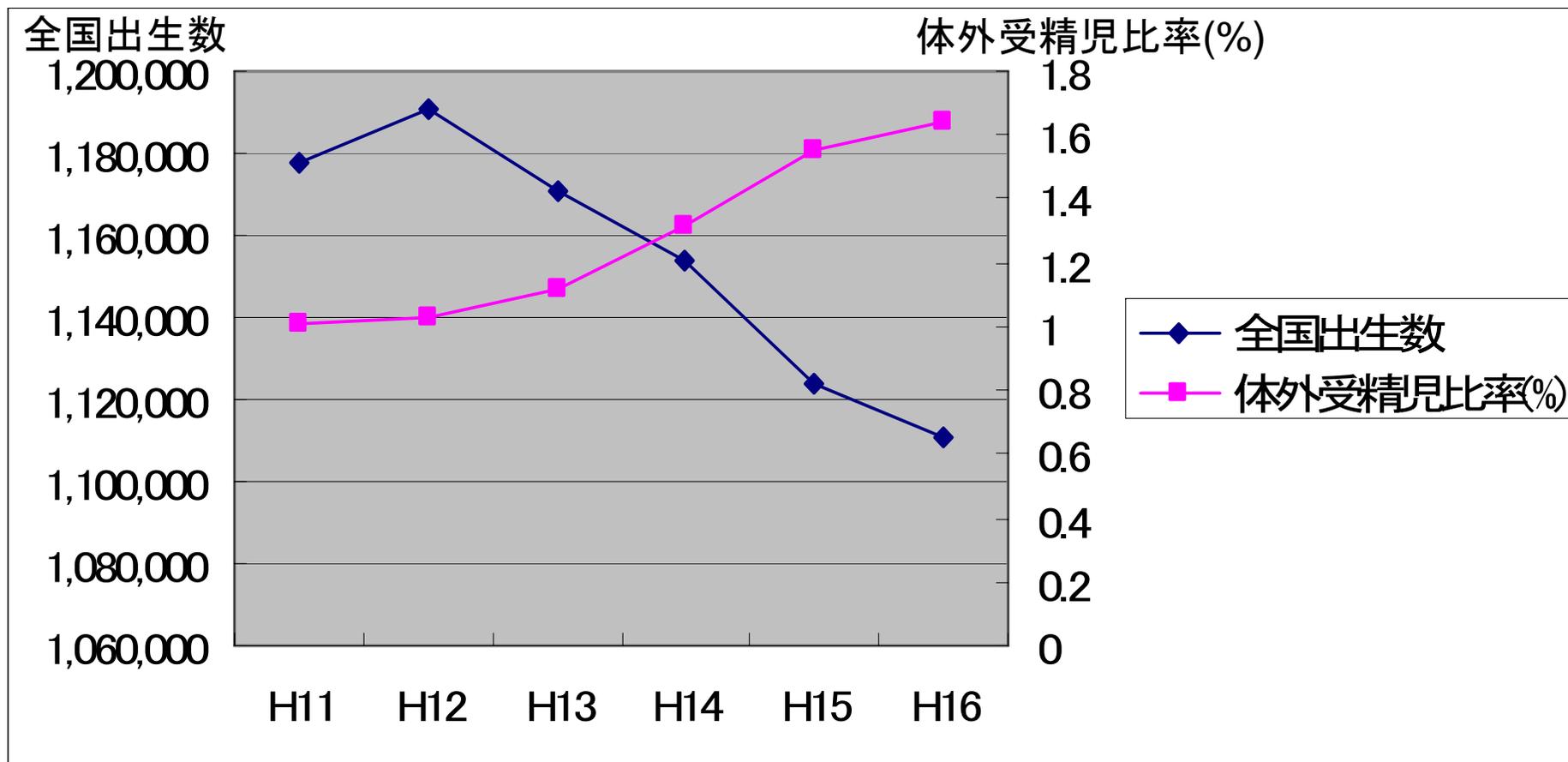
(%) 既婚夫婦の不妊率



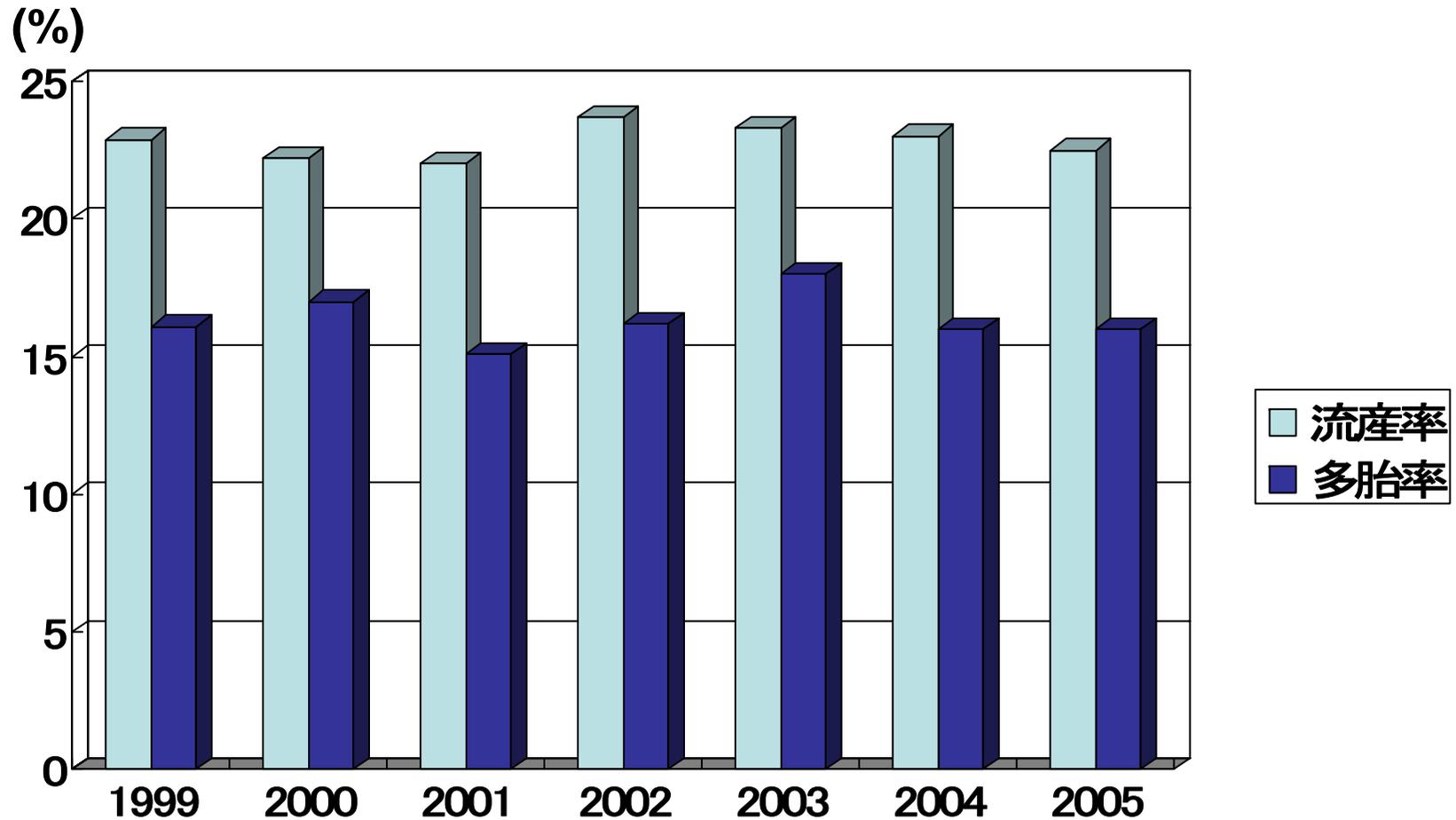
(Menken J, *et al*; Science; 233, 1389, 1986)

全国出生数と体外受精児比率 (日本産科婦人科学会調べ)

	全国出生数	体外受精児数	体外受精児比率(%)
H11	1,177,669	11,929	1.01
H12	1,190,547	12,274	1.03
H13	1,170,662	13,158	1.12
H14	1,153,855	15,223	1.32
H15	1,123,610	17,400	1.55
H16	1,110,721	18,168	1.64

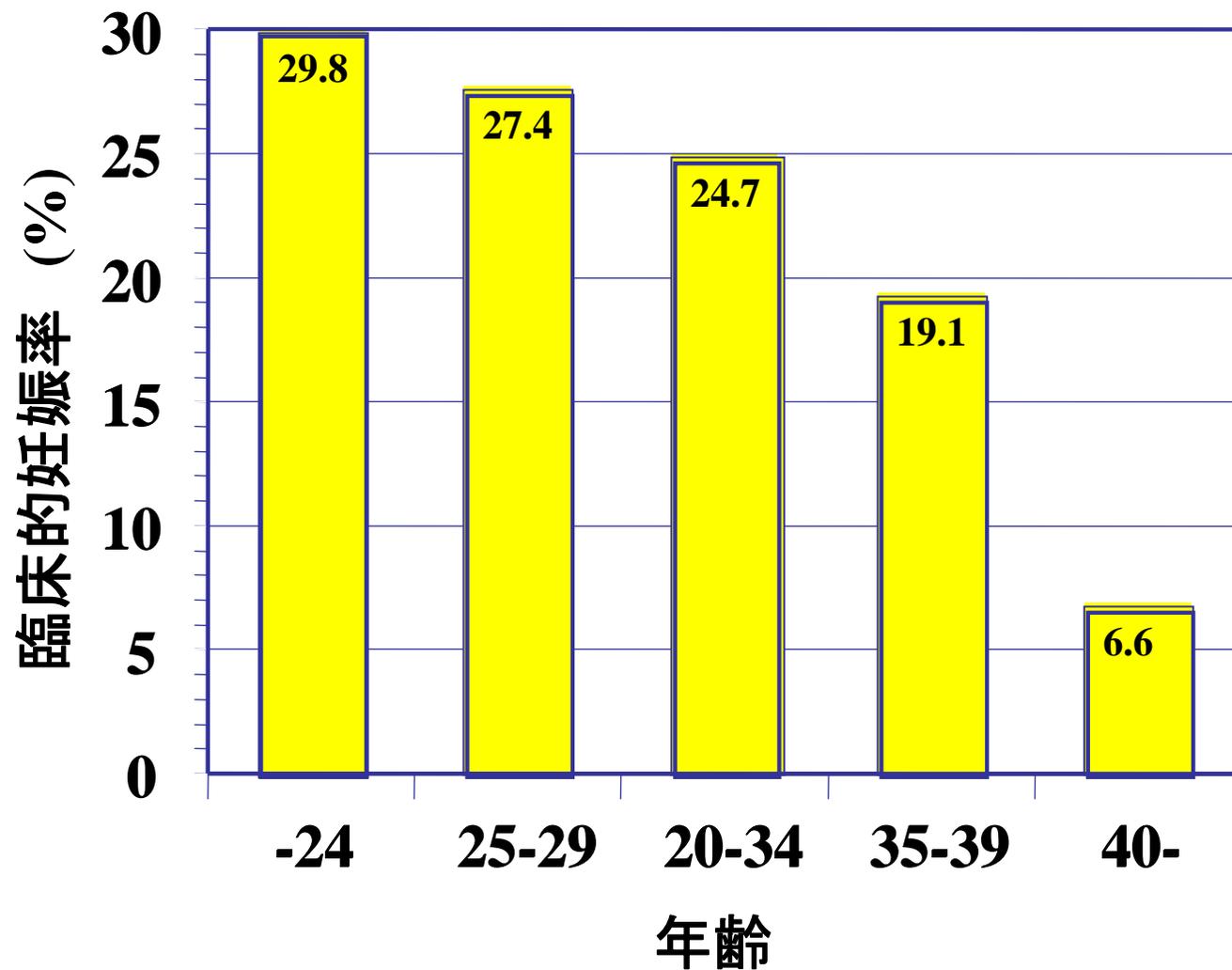


生殖補助医療（ART）成績の負の部分



(日本産科婦人科学会調べ)

生殖補助医療(ART)による患者年齢別妊娠率



(東邦大学医学部産婦人科調べ)

生殖補助医療 (ART) の医学的問題点

- 不妊夫婦は約10組に1組と推定.
- ART妊娠による多胎妊娠は約15%に及ぶ
(自然妊娠では1.2%). 産科的リスクの増大.
- ARTの生産率は20%前後.
- 晩婚化によりART不成功例の増加の予測.
- 高齢妊娠で染色体異常率が増加.
- 生まれる子へのケア.
- 配偶者へのケア.

新しい少子化対策について

平成18年6月20日 少子化社会対策会議決定

新たな少子化対策の推進

子育て支援策

- ①出産一時金の支払い手続きの改善
- ②妊娠中の検診費用の負担軽減
- ③不妊治療の公的助成の拡大
- ④妊娠初期の休暇などの徹底・充実
- ⑤産科医等の確保等産科医療システムの充実, etc

厚労省 8月25日 07年度予算の概算要求
少子化対策31%増, 不妊治療補助10万円
(通算5年)を年間20万円へ拡充案

ま と め

- 新たな少子化対策の推進による不妊治療の公的助成の一層の拡大は、社会的要因として特殊合計出生率の増加に影響を及ぼす可能性があると考えられる。
- ただし、晩婚化が進むことで、不妊治療をおこなっても見を得られない夫婦が増加する可能性についても、国民に知らせるべきである。
- 生殖補助医療により出生する児の比率は今後もさらに増加することが予想され、児の成育環境の整備（周産期医療、カウンセリング、法律倫理問題、など）が急務である。